

横浜市泉区更生保護だより

明るい社会

令和8(2026)年2月

編集・発行

横浜市泉区更生保護協会 会長(区長) 山口賢
 横浜市泉保護司会 会長 梅田 保彦
 横浜市泉区更生保護女性会 会長 市川千栄子
 〒245-0023
 横浜市泉区和泉中央南 5-4-13
 横浜市泉区社会福祉協議会内
 電話:045-802-2150 FAX:045-804-6042



令和7年7月12日(土)～13日(日)
 ゆめが丘ソラトスで
 「社会を明るくする運動」
 啓発展を実施しました!



地域のつながりから生まれる明るい社会

泉区更生保護協会会長(泉区長)の山口です。

日頃より更生保護活動に御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

泉区更生保護協会は、犯罪や非行のない「明るい社会」を築くことを目的に、地域の皆さまと共に活動を続けています。今年度も「社会を明るくする運動」を中心に、泉区集会、小中学生を対象とした作文コンテストなど、さまざまな取組を実施しました。

中でも、今年度の啓発展は、初めて「ゆめが丘ソラトス」で開催し、より幅広い世代の多くの方々へ更生保護の意義を知っていただく機会となりました。

罪を犯した人が再び社会の一員として歩むためには、本人の努力だけでなく、地域の理解と温かい支えが必要です。泉区では、孤立を防ぎ、人と人がつながる場を広げることで、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めています。

「地域のつながりから生まれる明るい社会」の実現に向けて、引き続き皆さまの御理解と御協力をお願い申し上げます。

更生保護って？

犯してしまった罪をつぐない、社会の一員として立ち直ろうとするには、本人の強い意志や行政機関の働き掛けのみならず、地域社会の理解と協力が不可欠です。

保護司、更生保護施設を始めとする更生保護ボランティアと呼ばれる人たちの他、更生保護への理解と協力の下、関係機関・団体との幅広い連携によって更生保護は推進されています。



泉区長 山口 賢

第75回 社会を明るくする運動

社会を明るくする運動
web サイト



犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

“社会を明るくする運動”は、すべての国民の皆様が、犯罪・非行の防止と立ち直りの支援についての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くための全国的な運動です。昭和26年に始まって以来、多くの方々の御賛同・御協力を得て、今年で75回目を迎えました。

犯罪や非行の背景には、望まない孤独や社会の中での、“生きづらさ”が存在していることが少なくありません。また、過去の過ちから立ち直ろうとする人々には、十分な時間と地域の中での居場所が必要です。悩める方々に寄り添い、互いに相手を受け入れることが、安全で安心な明るい社会の実現につながります。

こうした観点から、私たちが暮らす地域では、保護司や協力雇用主を始めとする「更生保護ボランティア」の皆様が、社会復帰を目指す人々を身近で支え、その再出発を助けています。政府においても、再犯防止のための就労支援、保護司等との連携強化、町ぐるみの防犯活動の促進などに取り組んでいます。

この運動を通じて、より多くの国民の皆様にも、立ち直り支援の活動を知っていただき、協力の輪が広がっていくことを期待いたします。併せて、「人は変わる」と信じ、それを待つことの大切さについても、御理解をいただければ幸いです。「幸福の黄色い羽根」のもと、多様な背景を持つ人々が、理解し合い、支え合うことによって、犯罪や非行のない明るい地域社会が実現するよう取り組んでまいりますので、国民の皆様の御協力をお願い申し上げます。

※これは令和7年3月頃に発行されたものです。

内閣総理大臣 石破 茂

官民協働の更生保護の発展を目指して

横浜保護観察所長 中臣 裕之



我が国の更生保護、すなわち、犯罪や非行からの立ち直りを助け、犯罪や非行のない明るい地域社会を築こうとする活動は、保護司、更生保護女性会会員、協力雇用主など様々なボランティアの方々との協働により行われており、泉区内でも多くの方々が熱心に活動してくださっています。

こうした官民協働の更生保護は、世界ではあまり類がなく、地域ぐるみで立ち直りを支える理想的な取組として、国際的に高く評価されて

います。

この日本の更生保護制度の意義も踏まえ、令和6年に開催された国際会議においては、毎年4月17日を「国際更生保護ボランティアの日」とすることが決議されました。

世界に冠たる我が国の官民協働の更生保護の一層の持続・発展を目指して、ボランティアの皆様が活動しやすい環境づくりに努めてまいりますので、一人でも多くの方々のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

安全で安心して暮らせる泉区に向けて

泉警察署長 小山内 章



泉保護司会、泉区更生保護女性会の皆様には、日頃から更生保護活動及び犯罪・非行の未然防止のための啓発活動など、明るい社会の実現に向けた活動に御尽力いただき、心より感謝申し上げます。また、更生保護女性会の皆様には、季節ごとに綺麗な生け花を飾っていただき、署員や来訪者を楽しませてくれていること、重ねて御礼申し上げます。

現在、多発する特殊詐欺、サイバー空間における深刻な脅威、痛ましい交通事故、状況が急変する人

身安全関連事案など、様々な治安上の課題が存在しておりますが、泉警察署では、こうした課題に対しましても積極果敢に取り組み、区民の皆様の安全を確保してまいります。

今年は泉区制40周年の年、「住むなら泉区」の言葉を治安の面から支援するため、今後も保護司会、更生保護女性会の皆様と連携を図りながら、取り組んでまいりますので、御協力をお願いします。



『社会を明るくする運動』作文コンテスト

小中学生の皆さんに「社会を明るくする運動」に対する理解を深めてもらうことを目的として、実施しています。672点の応募の中から、下記のとおり県入賞作品及び優秀賞が選出されました。

小学校の部

中学校の部

	学校名	学年	氏名
神奈川県更生保護女性連盟会長賞・泉区最優秀賞	緑園学園前期	6	能登 凰花
泉区優秀賞	和泉小学校	6	加藤 桃子
泉区優秀賞	岡津小学校	6	小原 瑛人
泉区優秀賞	岡津小学校	6	福島 璃乃
泉区優秀賞	上飯田小学校	6	三木 咲良
泉区優秀賞	上飯田小学校	6	村上 結羽
泉区優秀賞	中和田小学校	6	宇津味 咲岐
泉区優秀賞	中和田小学校	6	真庭 瑚々菜
泉区優秀賞	東中田小学校	6	渡部 由依
泉区優秀賞	緑園学園前期	6	浅見 優作

	学校名	学年	氏名
神奈川県更生保護事業連盟会長賞・泉区最優秀賞	中田中学校	3	吉田 芽生
泉区優秀賞	上飯田中学校	3	本嶋 美結
泉区優秀賞	緑園学園後期	9	板倉 凧沙
泉区優秀賞	緑園学園後期	9	滝口 葵
泉区優秀賞	緑園学園後期	9	室伏 結心
泉区優秀賞	緑園学園後期	8	西 朔矢
泉区優秀賞	緑園学園後期	7	山田 歩実
泉区優秀賞	中田中学校	2	春馬 唯来
泉区優秀賞	中和田中学校	2	久保田 悠
泉区優秀賞	岡津中学校	1	石井 怜愛

学校名	応募数	学校名	応募数
飯田北いちょう小学校	0	新橋小学校	9
和泉小学校	66	中田小学校	113
いずみ野小学校	6	中和田小学校	9
伊勢山小学校	0	中和田南小学校	0
岡津小学校	67	西が岡小学校	0
上飯田小学校	70	東中田小学校	20
葛野小学校	1	緑園学園(前期)	10
下和泉小学校	6	小学校計	377

学校名	応募数	学校名	応募数
泉が丘中学校	0	中和田中学校	135
いずみ野中学校	1	領家中中学校	2
岡津中学校	3	汲沢中学校	4
上飯田中学校	57	緑園学園(後期)	90
中田中学校	3	中学校計	295

小中学校合計 19校 672点
受賞作は次のページをご覧ください。



誰もが安心できる「明るい社会」をめざして

横浜市泉区社会福祉協議会 会長 貝沼 貞夫

泉保護司会、泉区更生保護女性会の皆様には、日頃より「社会を明るくする運動」などの活動にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

横浜市泉区社会福祉協議会は、「誰もが安心して自分らしく暮らせる社会をみんなで作ります」を活動理念とし、地域の皆様のご協力とご支援をいただきながら取り組んでいます。

当協議会では、泉区更生保護協会の事務局として「社会を明るくする運動」を推進しております。今年

度は新たな試みとして、啓発展を「ゆめが丘ソラトス」で開催しました。ファミリー層など、普段「更生保護」という言葉に馴染みのない方々にも知っていただく貴重な機会となりました。

私たちは、地域で活動する個人や団体のボランティアの皆様と連携していますが、さらに更生保護活動に関わる皆様とも、より一層協力を深め、社会福祉協議会の事業を通じて、誰もが安心して支え合える「明るい社会」の実現に向けて努力してまいります。



住むなら泉区、この地に住めることに感謝

泉区連合自治会町内会会長 会長 上原 敏博

泉区は市内18区のうち、「人と人との繋がりを大切にし共に助けあう」気持ちを持つ人が非常に多く住むまちです。緑が多く空気は爽やか、都心に出るにもとても便利。高齢者にとりましても、見守り活動が積極的かつ各自治会による手づくりのイベントが多く、日頃の交流も盛んです。

学校も地域との交流が多く、挨拶の大切さ、体力づくり、知的教養のすすめを熱心にして、

のびのびと教育している先輩方の努力に感謝しております。

泉区連合自治会町内会としてもスポーツ、音楽を中心とした福祉あふれるこの地を“故郷”として、安心安全で災害の少ないこの地をさらに発展させて、子ども達の将来に夢をもたせるまちづくりを積極的に行います。

この地を愛する人は非行には走りません。自信をもって泉区創立40周年を迎えましょう。



広がる優しさ

緑園学園前期 6年 能登の 凰花おうか



誰かに優しくされると、「自分も誰かに優しくしてあげたい」という気持ちになります。また、優しくする方も、「喜んでくれたみたいで良かったな、また優しくしてあげたいな」と思えます。そうしてその優しさはどんどん広がって、世界が優しさに包まれます。それこそが、「明るい社会」だと私は思います。

私は左利きで、お箸や鉛筆などを使うときは基本左手で持ちます。しかし、三年生の時、学校の授業で習字が始まりました。習字では筆を右手で持って書きます。右手で文字を書くのは苦手で、「きれいに書こう」と意識しても、あまり上手に書けませんでした。思った通りに書けなくて落ち込んでいたら、友達が「これ、右手で書いたの。上手いね。」

と褒めてくれました。私はそれを聞いて嬉しくなりました。褒めてくれて、認めてくれる優しい仲間がいる素晴らしさに気付きました。

反対に、誰にも褒めてもらえず、優しい言葉をかけてくれる仲間がいなかったら、私は落ち込んだままだったと思います。

「明るい社会」にするには、犯罪や非行が減る必要があると思います。そもそも、なぜ犯罪を犯してしまうのでしょうか。

犯罪、非行を犯してしまうのには何か理由があるはずですが、それはもしかしたら、「認めてくれる仲間がいなかった」ということかも知れません。認めてくれる仲間がないというのは、悲しいし、孤独を感じます。その悲しい気持ちが他の誰かを傷つけてしまう原因になった人もいます。

では、犯罪や非行を繰り返さないようにするにはどうすれば良いのでしょうか。残念ながら、犯罪を完全に無くすことはとても難しいことです。ですが、犯罪を繰り返さない様にすることはできると思います。

もし悲しみ、孤独が犯罪を犯してしまった原因だとしたら、「犯罪者だから」と言って冷たくせず、優しく、温かく接してあげれば、もう繰り返さないはずですが。私は暗い過去がある人にも、優しく接してあげられる様になりたいです。

優しさは、誰かの支えになります。罪を犯した人たちも、悲しみ、怒り、孤独を抱えているんだと思います。そんな時、誰かが手を差し伸べてくれたら、そしてその優しさに触れることができたのなら、それは、明るい社会に一步近づけたということです。

誰にでも平等に優しく、大切にできる社会へ。私はそんな明るい社会になることを、心から願っています。

毎年、泉区の小・中学校にお願いし、泉区をさらに「明るい社会」にするために行っている実践や提案についての作文を募集しています。

【作文テーマ例】

- ①学校や家庭で体験したことを基に非行のない地域づくりについて考えたこと
 - ②犯罪・非行のない地域づくりや犯罪や非行をした人の立ち直りについて考えたこと
- 詳細や過去の受賞作品について右の二次元コードから見るができます。





だれもが前を向ける社会にするために



よしだ めい
中田中学校 3年 吉田 芽生

最近、愛媛県宇和島市で中学生の少年が住宅に侵入し、逮捕されたというニュースを見ました。当時、住宅の裏口が開いていて、「中が見たかったから入った」と話していたそうです。少年と同じ年頃の私にとって、まったく他人事とは思えない事件でした。たとえ興味本位だったとしても、一つひとつの行動に責任が取られる年齢ということをもっと意識して生活しなければならないと強く感じました。

そんなとき、この作文のテーマがある「社会を明るくする運動」という言葉に興味を持ったので調べてみることにしました。この運動は犯罪や非行を防いで誰もが安心して生活できる地域社会をつくること、過去に犯罪や非行をした人たちが立ち直っていくことを支える運動だと知ることができました。私は、この運動を知って、一人ひとりの思いやりや行動が、社会を少しずつ変えていくための原動力になるのではないかと考えるようになりました。

私は今は中学校三年生で部活は引退していますが、二年生の頃に「もうやめたい」と何度も何度も思う時期がありました。試合や練習で何度も同じミスを繰り返してしまったり、自信をなくしたりして自分自身の存在が、部員に迷惑をかけているのではないかとさえ思いました。やめたいと思ったことは一度や二度のことではありませんでしたが、一度だけ、本気でやめようと思ったことがありました。同級生にそれを伝えると、次の日の部活では部員全員が知っていました。後輩は何も言わないでいてくれましたが、同級生は全員私をかこみ、「なんで!？」と食いついてきました。学校の昼休みにも呼び出されました。みんなは「絶対やめないで!!」と私を強く止めたり、先生は「今やめたら、何事も途中であきらめるようになってしまうし、きっと後悔する。みんなもやめないで、って言ってるんだから続けるべきだとは思う。でも、最終的には芽生が決めるんだよ。」と話してくださいました。先生の言葉を聞いたとき、涙があふれてきました。同時に「何をやっているんだ」と思いました。同級生と、顧問の先生の言葉に支えられてもう一度頑張ろうと思えました。この経験を通して、人は誰かの言葉や気持ちによって、立ち直るきっかけを見つけられるのだと実感しました。

犯罪や非行に走る人の中にも、もしかしたら似たように自分のことが嫌になった人や、助けてほしいけど言い出せなかった人がいたかもしれません。それでも犯罪や非行は許されることはありません。でも、その人がそこまで追い込まれてしまった理由や背景に目を向けることも大切だと思います。もし周りの誰かがその人に一声でもかけてあげれば、その人が悩みを打ち明けられる場所があったなら、未来は違っていたのかもしれない。

また、過ちを犯してしまった人に対して、「もうだめだ」と突き放すのではなく、「やり直すチャンス」を与えることも大切です。立ち直ろうとしている人に寄り添い、支える社会の中でこそ、人は変わっていくことができるのだと思います。誰かの支えがあって、初めて「また頑張ってみよう」と前を向くことができるからです。私が部活で同級生や先生に救われたように、小さな一言が、相手の心に大きな力を与えることもあります。

このようなことを考える中、私は「やり直せる社会」をつくるには、周りの人の理解がとても大切で、必要不可欠であると感じるようになりました。人は、見た目や過去だけで判断されると、ますます心を閉ざしてしまうと思います。でも、過去ではなく「これからをどう生きていくか」を見てくれる人がいるだけで、気持ちは大きく変わるはずですよ。だからこそ、私たち一人ひとりが相手の立場に立って考える力を持つべきだと思います。その小さな一つの行動が、犯罪や非行を防ぐ一歩にもつながるのではないのでしょうか。

私たち一人ひとりがやるべきことは決して難しいことでも、特別なことでもありません。学校や地域で困っている人に気づいたら声をかけること。誰かの失敗を笑ったり責めたりせず、「大丈夫」と伝えること。それだけでも、非行や犯罪を防ぎ、やり直せる社会をつくる第一歩になるのだと思います。私もこれから出会う人たちの中で、悩んでいたたり、困っている誰かに気づけるような人でいたいと思います。そして、誰もが前を向ける社会にするために、これからも私に何ができるかを考え続けていきたいと思っています。

中学校生徒指導専任教諭と 保護司・更生保護女性会との懇談会

例年、区役所の会議室で開催しておりましたが、今年は6月30日(月)に泉ふれあいホームで開催することができました。

中学生が問題を起こし、鑑別所や少年院送致になり、保護観察処分を受けることがあります。その際地域に戻ってきた少年を対象者として更生をお手伝いするのが保護司です。また、中学校では生徒指導専任教諭が非行や不登校等の課題を抱える生徒を支えており、日頃から生徒指導専任教諭と保護司、更生保護女性会との連携が立ち直りの大きな力になります。

生徒指導専任教諭より各学校の現状についてご報告いただき「それぞれが連携して住みよい地域づくりに心がけて活動して行くことが大事なことであり、それに向かって努力しましょう」と結束を深めることができました。



7月は
「社会を明るくする運動」の
強化月間です。

「社会を明るくする運動」 啓発展の開催

第75回「社会を明るくする運動」啓発展を、7月12日(土)と13日(日)に、ゆめが丘ソラトスSORATOS Room201で開催いたしました。会場には、この運動の作文コンテストに参加していただいた区内小・中学校の優秀作品や園児の「塗り絵」などを掲示しました。また、泉防犯協会、横浜泉ロータリークラブ、横浜泉ライオンズクラブ等の泉区更生保護協会会員の参加団体から啓発物品・パネルなどを展示し、ご来場の方々には、更生保護関連チラシ・防犯チラシ・啓発グッズなどをお配りしました。

会場では、本年も家族連れで楽しんでいただけるように、「ホゴちゃん塗り絵コーナー」を開設し、多くのお子様に塗り絵を描いていただき、啓発展の盛り上げにご協力いただきました。



多くの学校で
夏休みの課題として
「社会を明るくする運動」
作文コンテストに
取り組んでいただいで
います

泉区更生保護女性会 子育て支援

～ポッチャで遊ぼう！夏休みの宿題をしよう!!～

7月31日(木)泉ふれあいホームにて子育て支援「ポッチャで遊ぼう！夏休みの宿題をしよう!!」が開催されました。

当日は元気な子ども達14名と家族も加わり、元気いっぱいに始まりました。「ポッチャ」が初めての方もいる中、最初に審判長よりゲームのルール等の説明を受けましたが、子ども達は先に夏休みの宿題や勉強を「いずみ無料塾」の先生方と真剣に取り組むことが出来ました。

勉強が終わり、楽しみにしていた「ポッチャで遊ぼう！」の時間になりました。

3グループに分かれての競争が盛り上がり一緒にゲームをしていた家族とスタッフも笑顔になりました。



更生保護女性会って

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のための子育て支援活動などを行うボランティアです。
現在泉区では144人が活動しています。



詳細はこちら



「社会を明るくする運動」泉区集会

8月22日(金)泉区更生保護協会主催の第75回「社会を明るくする運動」泉区集会を泉ふれあいホームで開催いたしました。

最初に昨年の同運動作文コンクールで応募頂いた多くの作文の中から優秀受賞された2名の児童生徒より作品を披露いただきました。

次に、泉警察署生活安全課少年係員の金原健洋氏より「少年非行の情勢について」をわかりやすくお話ししていただきました。

今年は、薬物専門講師として活躍する山崎健氏より、【薬物・アルコール予防プログラム「抱えている荷物は何ですか】と題して、講演いただき、社会問題への指摘と警鐘を鳴らしていただきました。

終了後のアンケートでは、作文発表に対して「自分の考えを話せることに感動し、日本を支える希望を感じた」等の声、また講演では、「貴重なお話が聞けて、怖さが明確に・・・」等の声がありました。

また、期待するテーマとして「児童虐待・少年更生」が挙げられる等意見を賜りました。



保護司って

詳細はこちら



罪を犯して保護観察を受けることになった人の生活を見守り、様々な相談にのる他、時に助言も行う更生保護のボランティアで、法務大臣が委託します。

現在泉区では26人の保護司が活動しています。



第14回泉区民ふれあいまつりでの啓発活動

11月3日(月)泉区民ふれあいまつりが和泉遊水地で開催されました。

(泉区更生保護女性会)

午前中は風もなく暑いくらいでしたが、午後から気温が下がった事も手伝い、お汁粉は300杯が完売し「おいしい」との声にスタッフも大喜び!!商品の販売やバザーを毎回楽しみにしている方も多く人気です。

当日に向けて何回も打ち合わせをして準備、なんとと言っても晴れるようにとの全員の思いが伝わり無事に終了いたしました。



(泉保護司会)

泉区社会福祉協議会のテント前に、今年新しく作成した「泉保護司会」ののぼりを掲げ、保護司の活動をPRしました。お揃いの黄色い「ホゴちゃんTシャツ」を着用し、更生保護や薬物乱用防止に関するチラシ、ウェットティッシュなどの啓発グッズを配布しました。親子連れのご家族には、カラフルな風船を膨らませてプレゼントし、笑顔が広がりました。

「保護司ってどんな活動をしているの?」という質問もいただき、地域の皆さんに保護司の役割を知っていただく貴重な機会となりました。

令和7年度 泉保護司会受表彰者

(敬称略)

■藍綬褒章 秋

内藤 光雄

■法務大臣表彰

梅田 保彦・大橋 俊史

■関東地方更生保護委員会委員長表彰

町田 ふみ子・山下 昌永

■関東地方保護司連盟会長表彰

井内 早苗・佐藤 政枝・田中 信次

■横浜保護観察所長表彰

小島 貴美子・玉熊 秀義

■神奈川県保護司会連合会長表彰

栗田 寛康・萩原 達也・山 義明

■神奈川県知事感謝状

奥津 信義

■神奈川県社会福祉協議会顕彰

梅田 保彦

■横浜市長感謝状

山下 昌永

■横浜市保護司会協議会会長表彰

栗田 寛康・萩原 達也・山 義明



令和7年度 泉区更生保護女性会受表彰者

(敬称略)

■日本更生保護女性連盟理事長表彰

内藤 トモエ

■横浜保護観察所長感謝状

池田 邦代・坂本 利恵

■神奈川県更生保護女性連盟会長表彰

一瀬 照美・小池 節子・森 則子

■横浜市長感謝状

佐藤 ナツエ・大川 千鶴子

■横浜市会議長感謝状

宮本 ウタ子

■横浜市更生保護女性連盟会長表彰

石川 幸子・鈴木 幸枝・田中 静子

富永 和子・大竹 孝子

■神奈川県知事表彰

市川 千栄子

■泉区社会福祉顕彰

大木 ヤス子



～ 令和7年度更生保護協会会費及び助成金 協力お礼 ～

連合自治会町内会または自治会町内会から、合計 897,820 円の会費を頂きました。
また、下記団体から合計 40,000 円の助成金を頂きました ※令和8年1月22日時点
【横浜泉ライオンズクラブ、横浜泉ロータリークラブ、泉防犯協会、泉企業防犯連絡会】※敬称略
「社会を明るくする運動」や保護司会・更生保護女性会の活動等に役立てさせていただきます。ありがとうございました。



「明るい社会」編集委員

泉保護司会

会 長	梅田 保彦	広報部会	内藤 光雄
広報部長	土屋 幸二		萩原 達也

泉区更生保護女性会

会 長	市川 千栄子	副 会 長	池田 邦代
副 会 長	坂本 利恵	広報部長	中野 みどり

編集後記

梅の便りを聞く今日この頃です。令和7年度の行事はどれも滞りなく無事に進めることが出来ました。これも会員皆様のご協力とご支援の賜物です。これからもどうぞよろしく願います。

土屋